

国立国会図書館による国内博士論文の収集について

2013年6月7日

オープンアクセス・サミット2013

国立国会図書館 関西館

電子図書館課 木目沢 司

1

1 国内博士論文の収集についての国立国会図書館(NDL)の役割

博士論文の網羅的な収集と保存

- ・昭和10年
文部省(当時)が保管していた博士論文を移管
- ・昭和50年
学位授与大学等から直接博士論文の送付を受け入れ
平成25年1月末現在、約56万点を所蔵。
- ・平成25年
学位規則改正後も博士論文の網羅的な収集と保存を担う

2

2 博士論文の送付方法(1)

国立情報学研究所(NII)がメタデータを自動収集する機関リポジトリで公表する場合

- ・NIIの「学術機関リポジトリデータベース(IRDB)」を介して当館が自動収集(推奨方式)
- ・NIIのIRDBにメタデータを提供していること
- ・junii2(バージョン3.0)に対応していること
とくに、本文フルテキストへのリンク(fullTextURL)に博士論文全文のコンテンツ(ファイルへ)のURLを記述を。

▪ただし、NDLによるIRDBに対する自動収集は平成26年度下期以降の開始予定のため、平成26年度中に上記の条件を満たしていただける場合には、他の対応は不要です。

2 博士論文の送付方法(2)

(1)以外の機関リポジトリやホームページ等で公表する場合

- 当館の送信用システムを用いて送信**
 - ① 博士論文全文の電子ファイルとメタデータ
 - ② 又は、ホームページ上のURL等

▪送信用システムの運用開始は、平成26年早期を予定しています。それまでは、学位授与報告書の写しのみメールで送付してください。

2 博士論文の送付方法(3)

インターネットを利用して論文の全文を公表しない場合

・「やむを得ない事由」により、インターネットに論文全文を公表しない場合

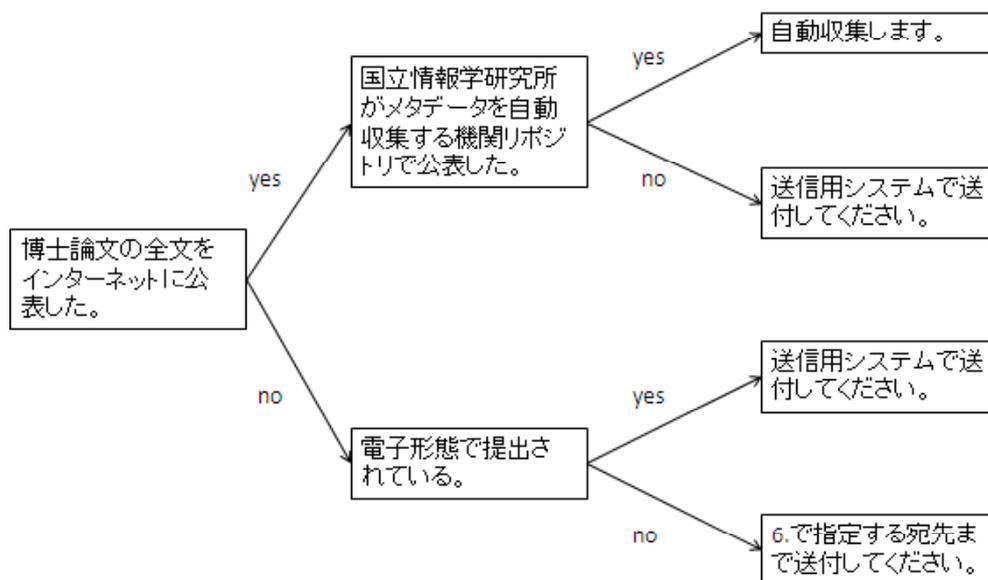
①電子形態の場合

(2)と同様、当館が用意する送信用システムを利用して、電子データを送信

②印刷物の場合

学位規則改正施行前に学位を授与された場合に準じ当館に送付

博士論文の送付方法(まとめ)



博士論文の収集に関するチャート図

3 博士論文の電子データの形式

- ・ 推奨
PDF (PDF/A (ISO 19005) が望ましい)
- ・ 外部情報源 (外部フォント等) を参照していないこと (フォントを埋め込んだファイルとすること)
- ・ 暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと (文書を開くパスワードの設定及び印刷を制限するパスワードの設定は行わないこと)

※ 長期的な保存及びアクセシビリティ確保のため
にご協力をお願いします。

4 学位授与報告書の写しの送付

- ・ 博士論文とは別途にメールで送付
当館のメールアドレス (hakuron@ndl.go.jp) 宛
に電子メールで送付してください。
- ・ メール の 件 名 は 「 学 位 授 与 報 告 書 の 写 し の 送 付 (○ ○ 大 学) 」 と し て く だ さ い 。
- ・ 博士論文を「2. 博士論文の送付方法」の
(1) ~ (3) のいずれの方法で送付する場合
も同様

5 NDLにおける利用

- (1) 閲覧
NDL施設内において閲覧
IRDBを介して収集したのも、NDL施設内のみで閲覧
- (2) 複写
著作権法において定められている範囲で複写
- (3) インターネット公開(許諾による公開)
送信用システムで収集した場合のみ、許諾に基づき、インターネットでも公開します。公共図書館、大学図書館等への公開についても許諾をいただければ公開。

送信用システムで設定可能な許諾(予定)

- (1) 提供範囲
 - ①NDL館内で提供(必須)
 - ②インターネット提供
- (2) 提供開始時期
 - (1)①の場合、NDLの作業完了次第提供
 - (1)②の場合、提供開始時期を指定可

※なお、論文要旨、審査要旨、参考資料等も送信される場合、それぞれについても個別に設定できるようにする予定。

6 学位規則改正施行より前に授与された博士の学位に係る論文の取扱い

- ・従前のおり

論文ごとに中性紙封筒に入れ、封筒の表に報告番号、学位の種類、氏名、大学名等を記入

当該論文が記載された学位授与報告書の写しを一緒に送付してください。その際、どの論文を送付しているのか、当館が判別できるようにしてください。

送付する小包には「学位論文在中」と朱書き

宛先

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
国立国会図書館関西館 収集整理課収集第一係

7 問い合わせ先

- (1) 国立国会図書館への博士論文送付に関すること

国立国会図書館関西館 博士論文担当

E-mail: hakuron@ndl.go.jp

- (2) 学位規則に関すること(学位授与報告書の様式に関する
ことを含む)

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室大学院
係

E-mail: gakui@mext.go.jp

- (3) 機関リポジトリに関すること

国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課

図書館連携チーム 機関リポジトリ担当

E-mail: ir@nii.ac.jp

8 いままでにあった問い合わせ等(1)

Q1.
国立国会図書館では博士論文の要約について収集する
のか?

A1.
国立国会図書館で収集するのは、基本的には博士論
文の全文です。「やむを得ない事由」により、全文に代え
て著者が作成した要約を公表する場合でも、全文を送信
又は送付いただくよう、お願いします。

また、送信用システムで、全文と一緒に要約を送信して
いただければ、要約も収集します。

8 いままでにあった問い合わせ等(2)

Q2.
機関リポジトリの一つのアイテムに全文だ
けでなく、要旨等のファイルも登録している
場合、全文のみが収集されるのか?

A2.
全文だけでなく一緒に登録されている要旨
等も自動収集します。

参考(お知らせ)

本日のお話の内容は
NDLホームページ「国内博士論文の収集に
ついて」

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/hakuron.html>

にも掲載しています。
また、今後も随時情報を更新します。